

令和3年度入学者選抜学力検査 一般選抜（後期日程）

医学部医学科：小論文 解答例・出題の意図

問題1 出題の意図

本文は、日本医師会第IX次学術推進会議の報告書から抜粋したものである。近年の人工知能（AI）の発展は目覚ましく、すでに我々の日常でも利用され始めている。医療分野も例外ではなく、AIを利活用する動きが盛んである。いずれAIは人類の知能を凌駕する時が到来するという予想がある。そのような時代において医療に携わる者は、どのようにAIと付き合いしていくか、協調していくかを問われることとなる。

本問題では、医師として新しい技術や知見に関心を持ち、理解することでその問題点を想起し、それに対する問題解決の方法を思考する力を問う。同時にそれらを論理的に記述する力を問う。

問1. AIの抱える問題点を読み解く力を問う。

問2. 全体の論旨を基に、現状の問題点を把握し予防医学の観点からの思考力を問う。

問3. AIの挙動についてシミュレーションする力とそれに対応する問題解決力を問う。

問4. 本文を踏まえて医師としてAIとどのように付き合いしていくべきかを考え自身の意見を記述する力を問う。

令和3年度入学者選抜学力検査 一般選抜（後期日程）

医学部医学科：小論文 解答例・出題の意図

問題2 出題の意図

本文は学術誌 *JAMA* で報じられた米国民の収入と期待余命の関係を論じた研究論文をもとにしたものである。本研究では収入が高い人ほど期待余命が長いという結果が報告されている。いわゆる国民皆保険制度のある本邦とは異なる国の医療制度に、医師を志す者として興味を持ち、収入と期待余命を関係付ける可能性のある原因や背景を本文から解読する力を問う。また、受験生が自ら論理的に仮説を立てる力も問う。

問 1. 日常における行動や環境が、健康や余命に与える影響に関する仮説を読み解く力を問う。

問 2. 本文を踏まえ恵まれた環境と余命の関係を考え推論する力を問う。